



名古屋市立大学

歴史年表

2006 平成 18 | 2000 平成 12 | 1999 平成 11 | 1996 平成 8 | 1988 昭和 63 | 1964 昭和 39 | 1957 昭和 32 | 1955 昭和 30 | 1953 昭和 28 | 1952 昭和 27 | 1950 昭和 25 | 1949 昭和 24 | 1948 昭和 23 | 1947 昭和 22 | 1946 昭和 21 | 1944 昭和 19 | 1943 昭和 18 | 1936 昭和 11 | 1931 昭和 6 | 1890 明治 23 | 1884 明治 17

- 医学部
- 薬学部
- 経済学部
- 人文社会学部
- 芸術工学部
- 看護学部
- システム
自然科学
研究科

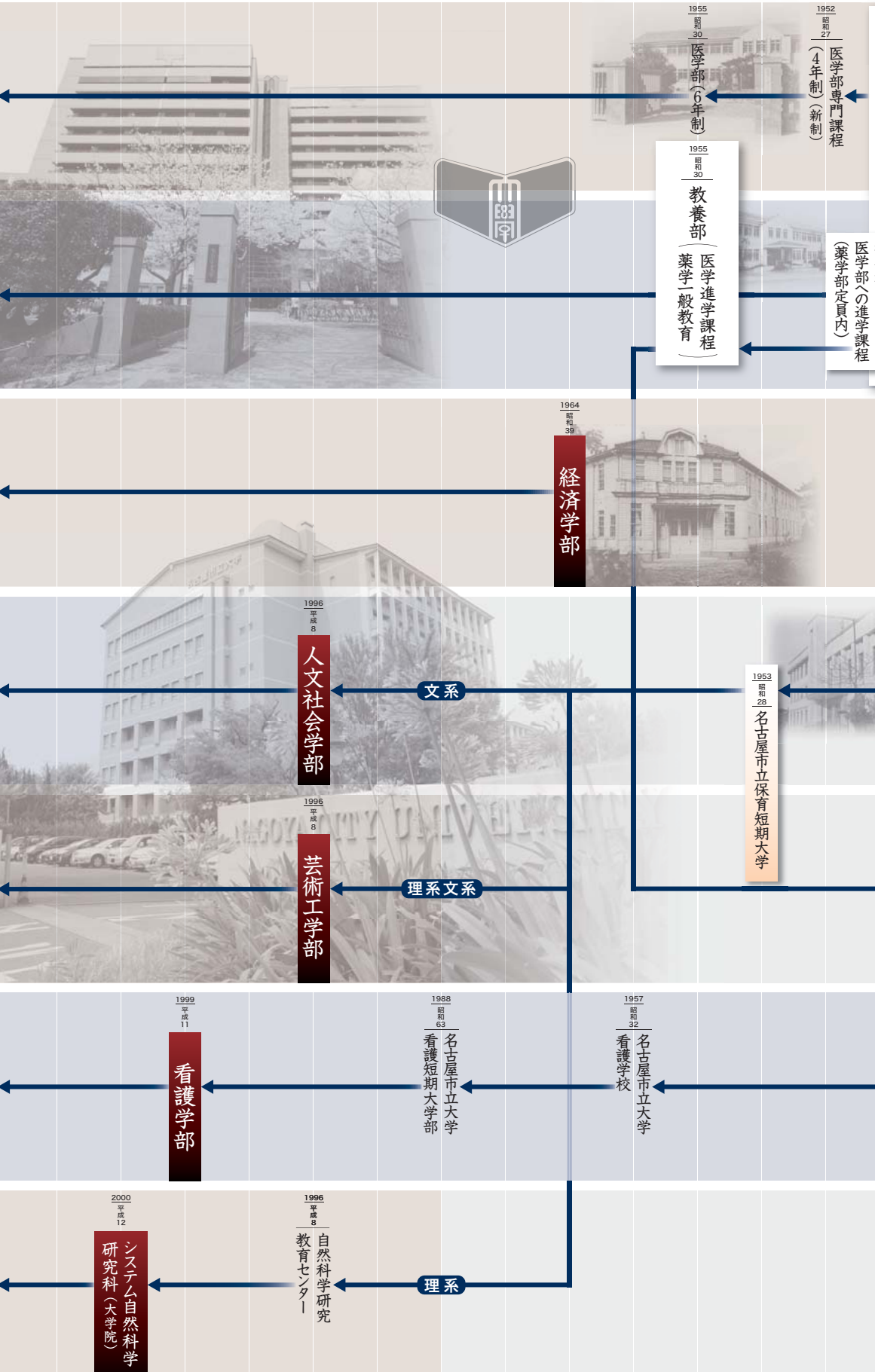
「沿革」

本学は、昭和18年に名古屋市立女子高等医学専門学校として発足、昭和22年には旧制「名古屋市立名古屋女子医科大学」が開学しました。3年後の昭和25年、すでに明治17年に私立名古屋薬学校として設立された歴史ある私立名古屋薬学専門学校が昭和21年に名古屋市立として移管され、昭和24年に開学した新制「名古屋市立名古屋薬科大学」と統合して、公立大学「名古屋市立大学」が開学（名称変更し、戸谷銀三郎先生が初代学長に就任しました。学部として、旧制医学部（昭和27年新制）、及び薬学部が設置されました。昭和39年に経済学部が設置され、平成8年には名古屋市立保育短期大学、昭和8年には名古屋市立女子短期大学が設置されました。

大学、名古屋市立女子短期大学、そして名古屋市立大学教養部の三つの組織の改組により、人文社会学部、芸術工学部、自然科学研究教育センターが設置されました。そして平成11年には、昭和18年設立の附属看護婦養成所以来の歴史を持つ看護学部が設置されました。平成12年に大学院システム自然科学研究科が設置されました。平成14年には、看護学部（平成15年修士課程設置）を除く6研究科が部局化されました。以上6学部と1センターを基にして、昭和36年から平成15年の間に、大学院計7研究科が設置されました。

名古屋市立大学 開学

医学部（旧制）
薬学部（新制）



公立大学法人 名古屋市立大学

平成25年4月作成